

研究発表もうしこみフォーム

氏名：ウ・ウユンガ

氏名のローマ字表記：WUWUYUNGA

所属：総合研究大学院大学

専門分野：文化人類学

発表のタイトル：ラクダ牧畜における母子関係への介入技術とその意義
—中国内モンゴル自治区アラシャー盟のラクダ牧畜民の事例から

発表要旨（600字～800字程度）：

本稿の目的は、中国内モンゴル自治区アラシャー盟においてフタコブラクダ(以下、ラクダ)を飼養する牧畜民を対象とし、まずラクダの出産期における母子関係への介入技術を明らかにする。そのうえで、ラクダ牧畜を維持していくうえで出産期に母子関係へ介入する意義を検討するものである。

母子関係への介入に関わる先行の研究では、動物の家畜化において重要な技術とされる搾乳の成立と関連付けて議論されてきた。具体的には、搾乳という技術を成立させる前提条件に母子関係の介入があり、ゆえに出産期における人的介入に注目することの重要性を指摘してきた。ただし、先行の研究では対象がヤギやヒツジ、アルパカ、ヒトコブラクダであり、かつ搾乳成立の可否が前置きとなる議論が中心である。本研究では、これまで検討されてこなかったフタコブラクダ（以下、ラクダ）を対象とし、まず牧畜民による出産期の働きかけを時系列的に明らかにする。そのうえで、ラクダ牧畜を維持していくうえで出産期の母子介入がもつ意義を考えてみたい。